

防災気象情報が新しくなります

これまでの大雨や土砂災害等の防災気象情報は、情報の種類が多く、避難のタイミングの指標となる「警戒レベル」との対応が分かりにくい状況でした。

新しい防災気象情報は、警戒レベルに応じて名称が整理され、避難のタイミングが分かりやすくなりました。

(例)	これまでの名称	今後の名称
	大雨警報	レベル3大雨警報
	土砂災害警戒情報	レベル4土砂災害危険警報

警戒レベル	(気象庁から) 河川氾濫 大雨 土砂災害 高潮	(市から) 避難情報	市民がとるべき行動
5	レベル5 特別警報	緊急安全確保	命の危険 直ちに安全確保
4	レベル4 危険警報	避難指示	危険な場所から全員避難
3	レベル3 警報	高齢者等避難	危険な場所から高齢者等は避難
2	レベル2 注意報	—	避難行動を確認(避難先・避難経路等)
1	早期注意情報	—	災害への心構えを高める

警戒レベル4までに 危険な場所から必ず避難!

警戒レベル3以上で 市からの避難情報発令 (防災無線、LINE等)

市からの避難情報について



市ホームページ



LINE

市では、災害が警戒レベル3以上に相当する際に、避難情報を防災無線やLINE等で周知します。気象庁からレベル3警報やレベル4危険警報が発表された場合には、市からの避難指示等に十分留意ください。

災害への事前の備えを

災害発生時に少しでも慌てずに済むよう、防災気象情報や避難情報が発表された際にとるべき行動を、ご家庭や企業・組織内であらかじめ決めておくことが重要です。

問い合わせ

地域安全課防災係 (☎042-387-9806)、気象庁東京管区气象台 (☎042-497-7216)

災害に備えて日常備蓄を進めましょう

災害の被害を最小限に抑えるためには、日ごろの備えと心掛けが重要です!

問い合わせ 地域安全課防災係 (☎042-387-9806)

備蓄をしましょう



日常備蓄について
詳細はこちら

日ごろから自宅で利用しているものを少し多めに備えることで、災害時にも自宅で当面生活することができます。在宅避難に備え、食料や水、生活用品などを最低3日分(できれば7日分)備蓄しましょう。

- 飲料水(1人1日3L)
- 食料(缶詰、レトルト食品、ビスケットなど)
- 携帯トイレ(1日あたり5回分)
- 生活用品(懐中電灯、カセットコンロ、ラジオ、ティッシュ、電池など)



非常持ち出し品を準備しましょう

日ごろから準備しておき、避難時に持参しましょう。

- 飲料水・食料
- 救急・安全用品(常備薬、マスクなど)
- 日用品(懐中電灯、ラジオ、簡易トイレ、生理用品、洗面用具など)
- 衣類(タオル、下着、雨具など)
- 貴重品(現金、通帳、保険証など)



防災用品あっせん



価格等詳細は、市ホームページまたは地域安全課窓口で配布しているパンフレットをご覧ください。

■防災用品地震対策用品、避難用品、簡易トイレ、保存食料、飲料水
☒市や消防署では訪問販売は行いません。市や消防署の名をかたった訪問販売にご注意ください

☒郵送またはファクスで住所・氏名・電話番号・希望防災用品(品番号・品名・あっせん価格・数量)を明記し、東京都葛飾福祉工場多摩営業所「小金井市防災用品あっせん係」(〒183-0011府中市白糸台1-31-5 鹿島ビルFAX042-336-9132)へ



避難21点セット